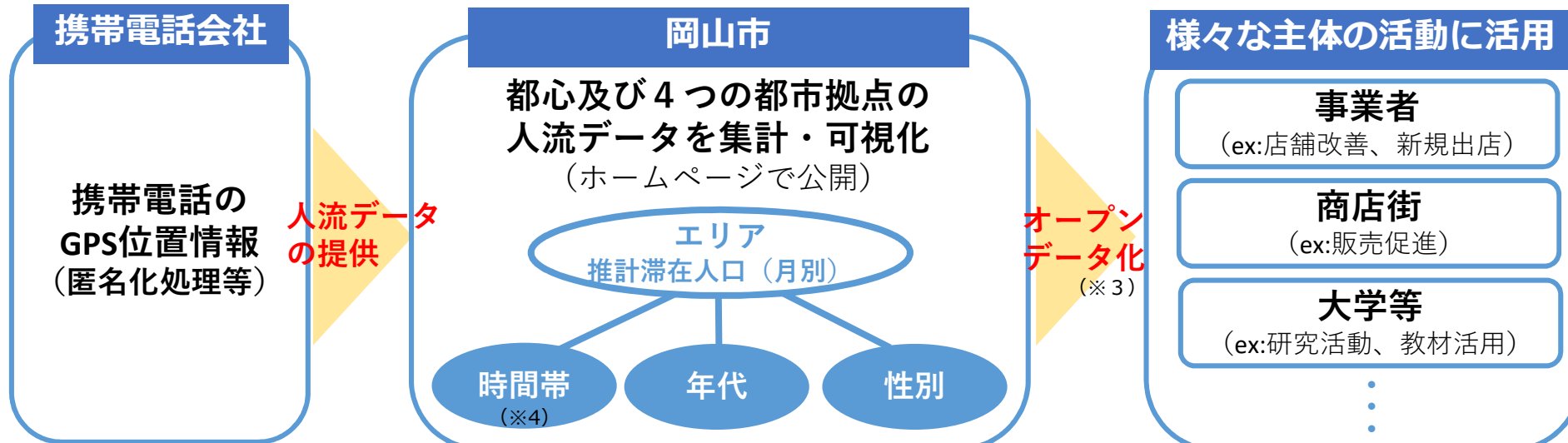


【岡山市】人流ビッグデータのオープンデータ化

- ① 岡山市の都心及び4つの都市拠点（※1）の推計滞在人口等の人流ビッグデータを把握することにより、今後の市の施策の効果測定や施策立案のための基礎資料として活用
- ② 当該データの一部をオープンデータ化することにより、様々な主体による活用（※2）を促進し、市内の経済活動の最適化等につなげる（9/1から市ホームページで公開予定）

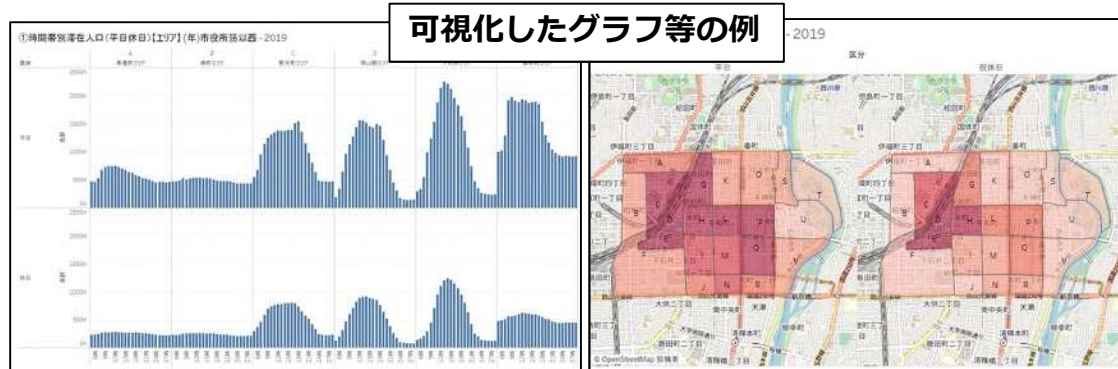
※1 都市拠点とは、岡山市第六次総合計画に掲げる「コンパクトでネットワーク化された都市構造」における北長瀬、浜・原尾島、西大寺、岡南の4か所
 ※2 これまでの単なる「公開」から、今後は「活用」の促進へとオープンデータの取組フェーズをシフト（現在、岡山市DX推進計画を作成中）



※3 125mメッシュを基礎として年代等の属性情報付きの推計滞在人口等を継続的に公開する取組としては全国初（岡山市調べ） ※4 都心のみ

オープンデータの例

エリア名	5時	6時	7時	8時	9時	10時
春遊町エリア	61.4	54.6	61.6	74.4	83.4	88.8
寿町エリア	59.7	57	57.1	62.2	63.7	65.6
駅元町エリア	63.5	77.9	101.7	129.8	143	154.1
岡山駅エリア	25.8	48.1	72.9	117.1	139.1	159.8
下石井エリア	36.6	43.3	63.5	108.8	150.6	192.8
桑田町エリア	129.7	128.8	154.8	205.5	207	196.9
岩田町・駅前向エリア	46.5	54.1	57.1	84.6	88.8	100.2
中心市街地①(本町)	55.7	55.9	63.5	95.2	119	152.1
中心市街地②(幸町ほか)	48.1	49.6	56.6	92	96.4	100.7
中心市街地③(柳町ほか)	18.1	17.4	26.5	35.6	36.3	37.3
富田町・野田屋向エリア	59.8	61.9	68.7	77.4	75.5	72.4
中心市街地④(扇屋町ほか)	31.6	31.7	38.7	63	73.3	75.6



- ※5 オープンデータは毎月更新、可視化したグラフ等は年1回以上更新して市ホームページに掲載予定
- ※6 推計滞在人口等のデータは、auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たものを対象に、個人が特定されないよう匿名化処理を行って集計されたもの（データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」）

【岡山市】人流オープンデータの活用が想定される場面（例）

- オープンデータ化によって、費用や時間を掛けずに推計滞在人口等を取得できるようになり、これらを様々な主体が活用することで、市内の経済活動等の最適化ひいては地域経済の活性化が期待される。

店舗改善

【小売】

場面：エリアにいる人の年代・性別を知り、店舗の改善にいかしたい！

活用：年代別・性別人流分析や購買データとのギャップ分析により、商品構成やディスプレイを改善

販売促進（個店）

【小売】

場面：エリアにいる人の時間帯別の人数を把握し販促につなげたい！

活用：時間帯別人流分析により、最適なタイミングでのタイムセールの実施や営業時間の最適化

新規出店（立地評価）

【小売／飲食／サービス】

場面：自社サービスのターゲットと人流が合っているか確認したい！

活用：年代別・性別・時間帯別人流分析により、自社サービスのターゲット層が多く訪れる立地特性を確認

新規出店（売上予測）

【小売／飲食／サービス】

場面：独自に実施する通行量調査の補完として、人流データを売上予測に活用したい！

活用：滞在人口・通行人口を売上予測の補完資料として活用。年代別・性別・時間帯別人流分析により精度向上も

都市開発

【不動産／建設】

場面：開発予定エリアのポテンシャル確認のための補強資料が欲しい！

活用：滞在人口・通行人口を分析し既存調査データを補強。テナント構成の検討に年齢別・性別データも活用

販売促進（エリア）

【商店街】

場面：エリアにいる人の人数、年代、性別を把握し、最適なイベントを開催したい！

活用：月別・時間帯別人流分析により、最適なタイミングでのイベント開催や、年代別・性別分析で内容を検討

研究活動

【大学等】

場面：都市に関連する研究において、属性データを含む人流データが欲しい！

活用：年代別・性別データで新たな分析が可能。通行量調査など既存データの補完資料としても活用可能

教材活用

【大学等】

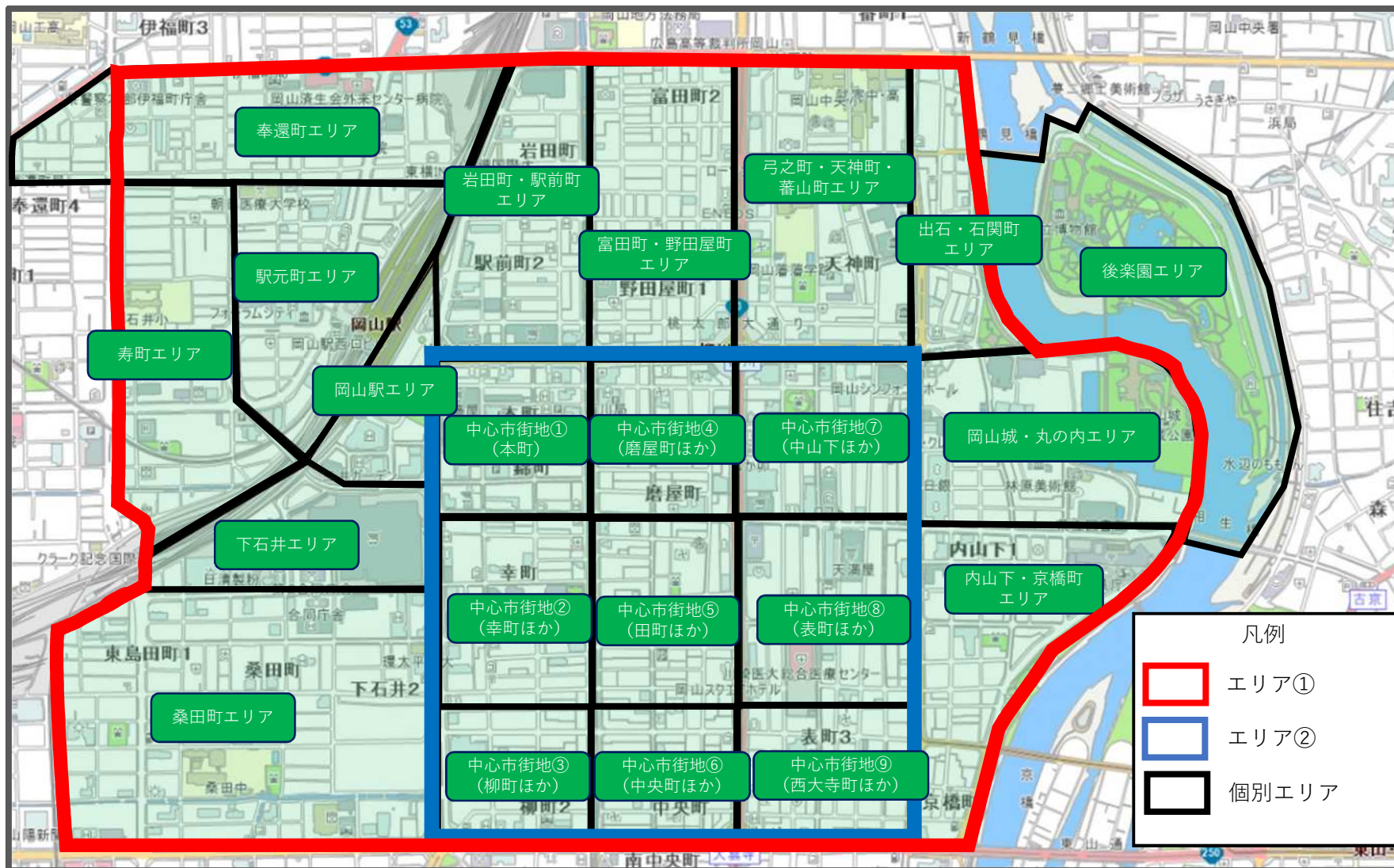
場面：授業・講義の教材や生徒・学生の自由研究の資料として人流データを活用したい！

活用：新たなデータとして、人流データを活用。まちづくりへのフィードバックも期待

※上記はあくまで都心を念頭に作成した想定事例の一部に過ぎず、これらの他にも様々な活用が期待されることがオープンデータの特徴である。また、エリア設定の範囲等によってその有用性は大きく異なることに留意が必要である。

集計エリア（都心）について

エリア①、エリア②、各個別エリアにおいて各々集計

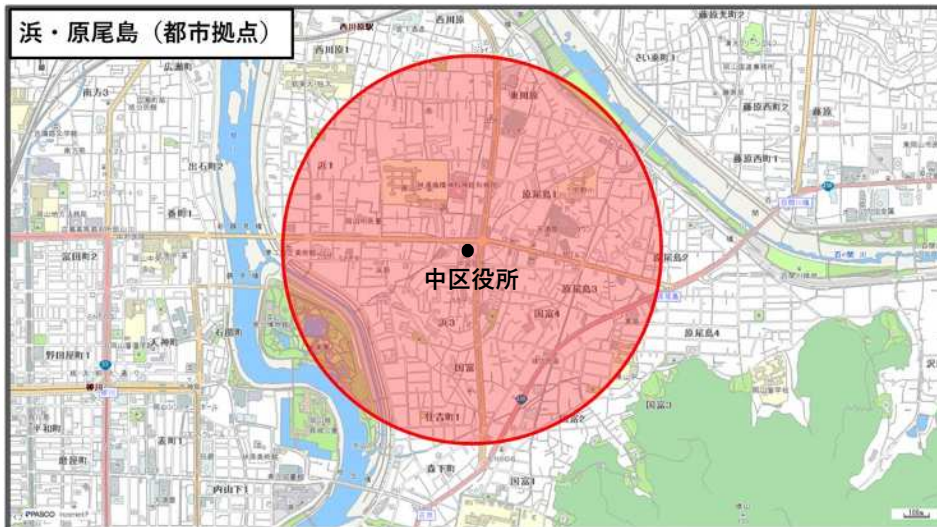
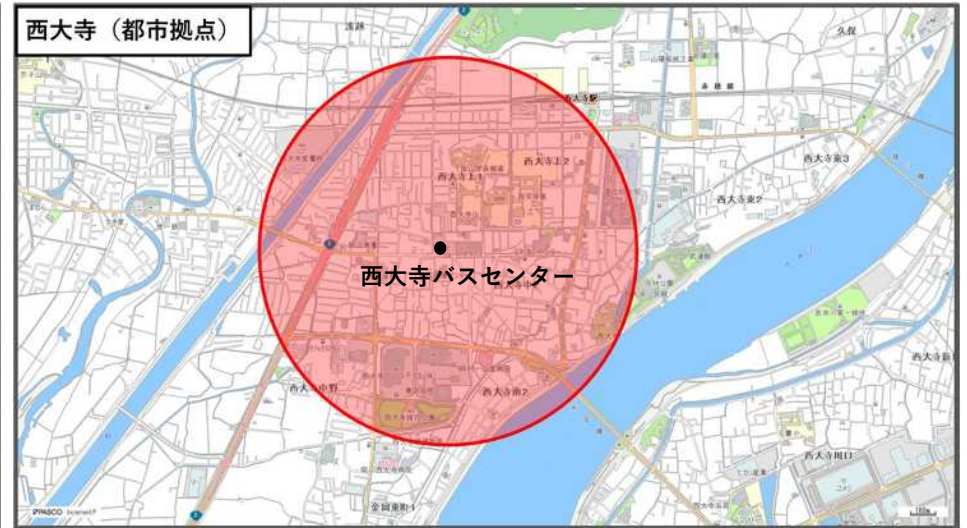
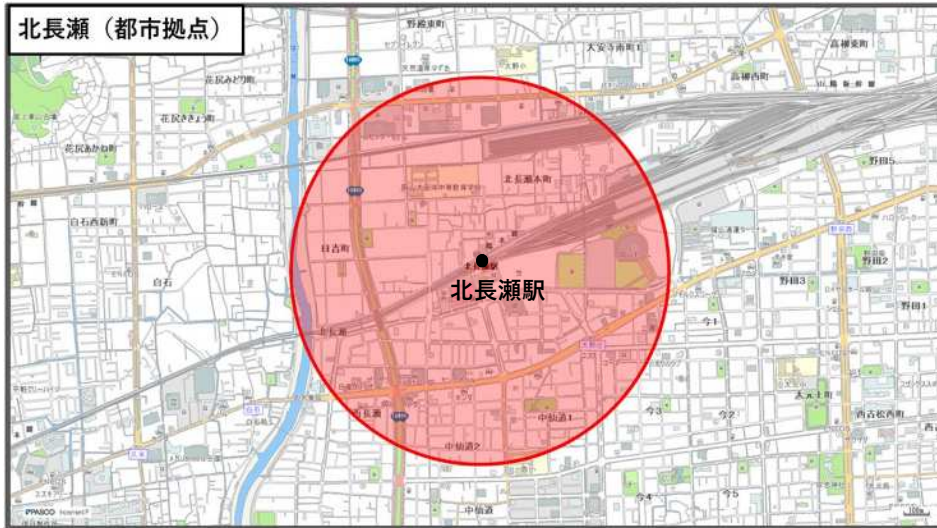


※滞在人口はそれぞれの計測範囲に15分以上滞在した人数

※各エリアの滞在人口は当該範囲にある125mメッシュの滞在人口を合計したもの（各エリアの境目によってはメッシュの重複あり）

※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計されたデータの提供を受け、市で再集計した。（データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」）

集計エリア（都市拠点）について



※滞在人口はそれぞれの計測範囲に15分以上滞在した人数

※各都市拠点の滞在人口は岡山市立地適正化計画の考え方を参考に設定した拠点中心から800m圏の範囲にある125mメッシュの滞在人口を合計したもの

※各拠点の中心は、北長瀬駅（北長瀬）、中区役所（浜・原尾島）、西大寺バスセンター（西大寺）、築港新町バス停（岡南）

※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計されたデータの提供を受け、市で再集計した。（データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」）